

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	地域福祉推進事業	コード	61101
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 社会福祉課	作成者 高橋 卓
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	福祉の充実	施 策	地域福祉の推進
		予算科目	地域福祉推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	地域住民が、生涯にわたり住み慣れた地域で健やかに暮らし続けるため、地域でお互いに支え合う仕組みを整え、自立を支え合う地域づくりを行う。		
目的	対象者	地域住民（市民）	
	意 図	地域福祉の充実	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>○地域サポートセンターの機能充実及び岡谷市地域福祉ネットワーク会議の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての地区に地域サポートセンターが設置されたことを契機として、地域福祉の一層の充実に向け、各地区が情報共有しながら、共に解決していくための体制整備や機能強化を図ることを目的とした岡谷市地域福祉ネットワーク会議を設置した。第1回H30.7.13/第2回H30.12.12/学習会H31.2.28 各地区を訪問し、地域における課題や地域福祉の取り組みについて聞き取りを行った。 運営、事業推進等に係る経費に対する補助金交付（行政事務交付金） <p>○岡谷市社会福祉協議会との連携による地域福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 社協の基幹職員分等の補助 <p>○市内福祉団体への支援</p> <p>○出会いの場創出支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化対策の一環として、男女の出会いの場を創出するため婚活イベントを実施している市社協と勤福センターにブラッシュアップセミナーの実施もあわせて委託し実施した。 市内事業所等を通じて幅広く参加者を確保するため岡谷商工会議所と連携し周知を行い実施した。また、登録者に対し、結婚支援に関する情報提供を行った。 市社協：セミナー及びイベント3回、参加者セミナー29人、イベント36人 勤福：セミナー及びイベント3回、参加者セミナー68人、イベント97人 <p>○結婚新生活支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済的理由により、結婚に不安を抱える低所得の若年層を対象に、住居費及び引越し費用を支援した。 4件 1,142,000円 		
前年度の課題への対応	岡谷市地域福祉ネットワーク会議を設置し、各地区及び各種団体等との連携促進の仕組み作りを行った。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 活動指標（指標名）	地域サポートセンター説明会等参加者			単位 人
実績値	0	0	0	
*指標の説明				
② 成果指標（指標名）	地域サポートセンター設置数			単位 区
目標値	2	2	2	0
実績値	0	2	2	
達成度	0.0%	100.0%	100.0%	
*指標の説明	未設置区への設置			
*目標値の設定方法の説明	岡谷市内の行政区数（未設置区数）			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	538,200	500,000	0	288,000
経常経費	538,200	500,000	0	288,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
正規職員の人数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60
③ 合計コスト(①+②)	5,338,200	5,300,000	4,800,000	5,088,000
前年度比		99.3%	90.6%	106.0%
財源	5,338,200	5,300,000	4,800,000	5,088,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	-	-	-	-
前年度比				
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
行政事務交付金 (地域サポートセンター)	件数	19	21	21	21
	金額	1,310,000	1,405,000	1,380,000	1,380,000
地域サポートセンター バリアフリー事業補助金	件数	2	1	0	0
	金額	538,200	500,000	0	0
岡谷市社会福祉協議 会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	21,779,364	21,800,000	21,800,000	21,800,000
岡谷地区保護司会補 助金	件数	1	1	1	1
	金額	64,000	45,000	45,000	45,000
岡谷市社会福祉協議 会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	21,779,364	21,800,000	21,800,000	21,800,000
結婚新生活支援事業 補助金	件数	0	0	4	4
	金額	0	0	1,142,000	1,200,000
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	45,470,928	45,550,000	46,167,000	46,225,000
	割合	8,448.70%	9,110.00%	#DIV/0!	16,050.35%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	100.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	100.0%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	①地域福祉の推進では、本市の課題である「地域での支えあいや見守り体制の一層の充実」と「地域活動の支え手、担い手の確保・育成」を図るため、まずは、これらの課題に取り組む意識の醸成が必要である。 ②出会いの場創出事業において、セミナー&イベントへの参加者集めに苦慮している。	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	①全市統一でなく、各区の実情を聞き取りながら、地域ごとの仕組みづくりに向けて学習会等を開催し、支えあいの意識の醸成と広がりを図る。 ②周知方法を工夫するほか、市も関わって、より魅力的なイベントを企画し、参加者増につなげる。	
	改善開始時期	平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---